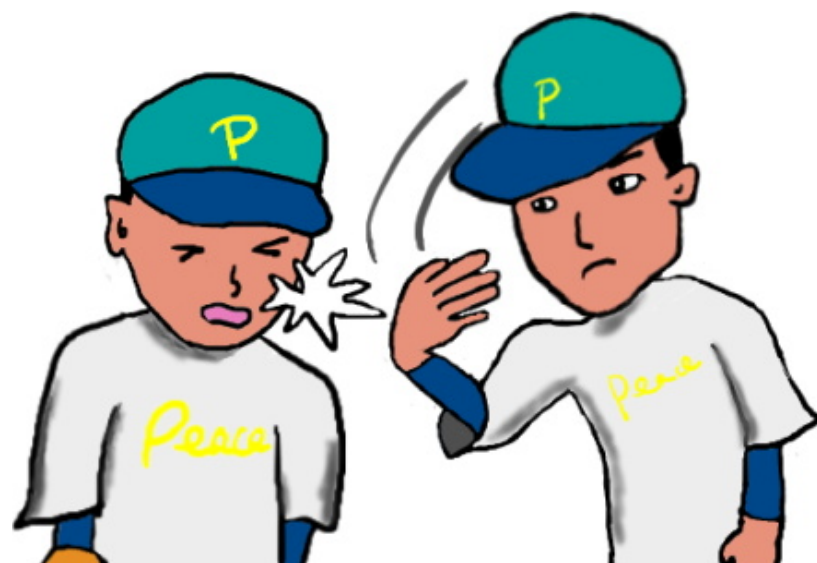


攻擊命令、無制限！



東郷 潤

野球部の監督がキャプテンに命令をしました。



キャプテンは仲間の頬を1回、ビンタしました。

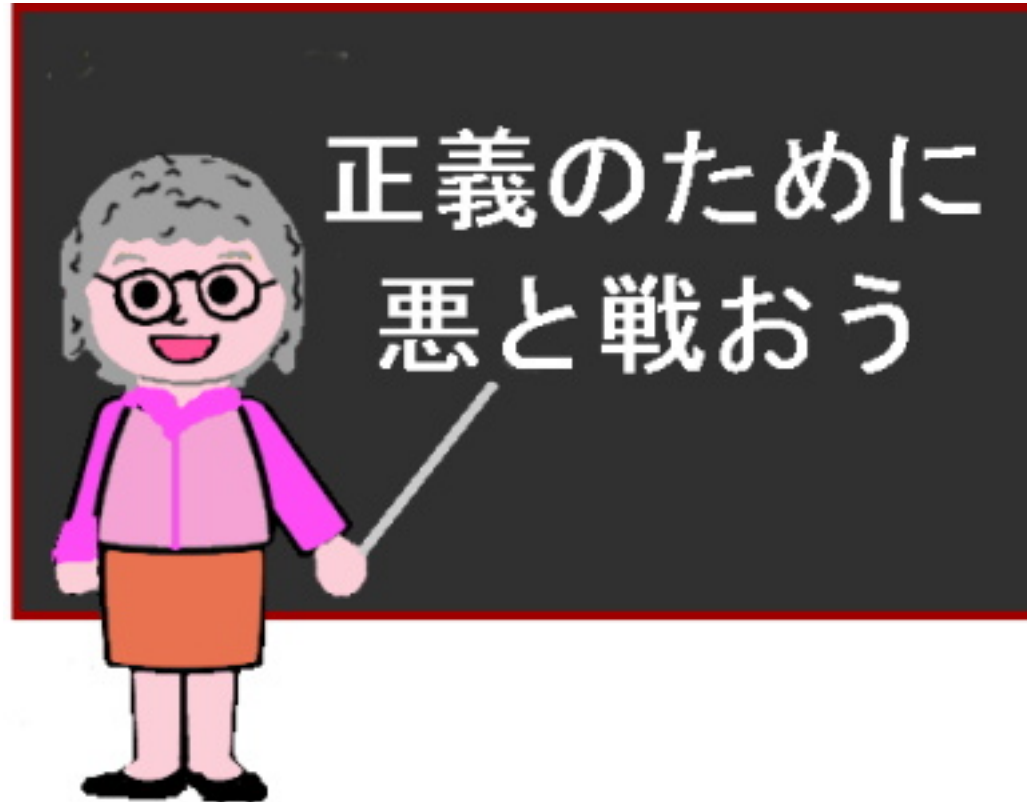


もちろん、怪我をさせるほど強くではありません。気合を入れることが目的ですから。

——話は変わって、あるところに嫌な奴を誰かに殴ってもらおうと、いろいろな人に向かって、繰り返しささやいている少年がいます。



もちろん僕たちは皆、子供の頃から、ずっとこう教えられています。



「あいつは、悪い奴」ということは、つまり「悪のあいつと戦おう」という攻撃命令が下された、…そう思う人も中にはいるかも知れません。

それではここで、黒板の先生と、最初の監督の攻撃命令を比べてみましょう。

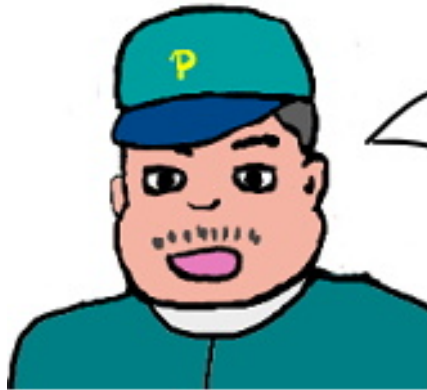


おい、キャプテン。
あいつに、ビンタを
一発くれてやれ



正義のために
悪と戦おう

では、二人が命令した、攻撃方法は何でしょう？



ビンタだよ



え？ 何かしら？

では誰に攻撃しろって、命令したのでしょうか？



キャプテンだよ



え？ 誰かしら？

では攻撃回数は何回でしょう？



1回だよ



え？ 何回かしら？

いつ、誰が、どうやって、何回、攻撃するか、黒板の先生は、監督のように具体的な命令をしていませんね。

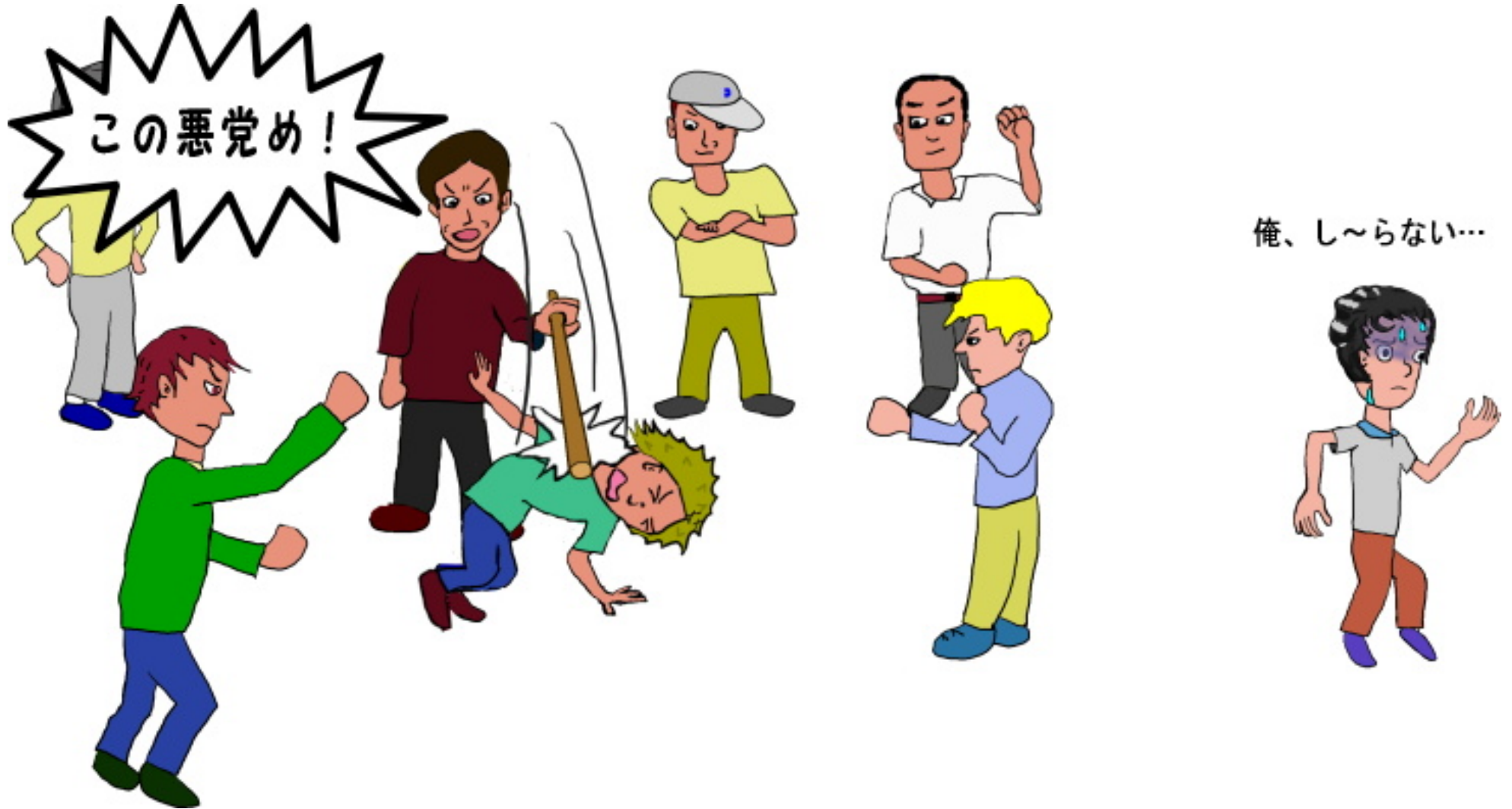
さて、ある日、彼を悪い奴だと信じた人たちが、彼を殴りつけました。



そして、彼を蹴りつけました。



そして、彼を棒で叩きました。



お分かりでしょうか？ 誰かを「悪だ」というのは、その人に対する具体的な、つまりは限定的な攻撃命令ではありません。

ですから、



…そんな風に、錯覚されることも、時には、あるかもしれません。

こうして人類は、時に異常なまでに残虐化するのではないのでしょうか。



あとがき ー絵本「攻撃命令、無制限！」

善悪という考え方／言葉は、本当に様々な錯覚を生み出します。そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。(詳細は、下記WEBの絵本集、 弊著「善悪中毒」、「原爆への復讐」をご参照ください)。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2011